

南阿蘇村 復興むらづくり だより



復興推進課

TEL(67) 1113

■災害公営住宅入居費助成

▼制度概要

熊本地震により被災し、応急的な住まいなどでの居住を余儀なくされた人が、新たな再建先として熊本県内の公営住宅に入居する場合には必要となる費用負担の軽減のため、助成金を支給します。詳細については、お気軽にお問い合わせください。

▼支給額

一律10万円

▼支給対象者

①応急仮設住宅(建設型仮設・借上型仮設)入居者であり、応急仮設住宅の給与期間内(延長された場合はその期間内)に退去した人。

②応急仮設住宅入居者以外で、次のアからウに該当する世帯

- ア 市町村長が発行する罹災証明書で全壊または大規模半壊の判定を受けた世帯
- イ 市町村長が発行する罹災証明書で半壊の判定を受け、その住宅を解体した世帯
- ウ 長期避難世帯に認定され、その認定期間中に公営住宅へ入居した世帯

※注意事項

- ・熊本県外の公営住宅への入居者は対象外です。
- ・申請期限は入居後6カ月以内となります。

■「すぎるの里」が東海大学生への弁当提供開始

5月27日、黒川区の女性たちで発足した「すぎるの里」が、東海大学生への復興弁当の販売を開始しました。

お弁当は、4月22日に実施された学生向け試食会で学生から集計したアンケート結果を基に、地元や大学で収穫した野菜などを使い、普段は学食などで節約する学生に配慮し、価格を抑えた内容で提供することとなりました。

初日はとんかつ弁当で、大学の先生たちの注文を含む約60食を販売、すべてのお弁当が完食されました。今後は、週1回のペースで阿蘇実習フィールドに訪れる学生たちに提供されることになっています。



→当日の様子(上)と企画会議の様子(下)



■下西原・馬立団地イベントで交流

6月28日に下西原第一団地と加勢地区、29日には馬立団地と立野地区との交流会イベント「落語まつり」が開催されました。

イベント前半はグリーンコープの屋台コーナーで、牛丼やカレーが振る舞われました。後半はシンガーソングライターYAMATO氏のミニライブと、落語家古今亭駿菊師匠の公演が催されました。YAMATO氏は来場された参加者の名前を歌詞にいれたりなどして会場を盛り上げ、古今亭駿菊師匠は手話を使った落語で、会場の全員が一体となるような公演を披露していただき、皆さん大変満足されていました。

最後は公営住宅入居者、周辺住民とでお茶を片手に交流会が実施され、参加者相互に笑顔で会話を交わしながら親睦を深められていました。



→古今亭駿菊師匠の公演



→YAMATO氏のミニライブ